

豊かな社会づくり

社会の一員としての役割と責任を認識し、健康で心豊かな社会づくりと地域社会・国際社会の発展に貢献します。

お客さまをはじめとするすべての方が、未来の様々なライフイベントを楽しみ、力強く乗り越えて、豊かで明るい人生を送れるよう応援したいと考えています。住友生命は、そうした想いから、職員参加型のボランティア「スミセイ・ヒューマニー活動」により職員の社会貢献意識の向上を図りつつ、生命保険業と親和性の高い「子育て支援」「次世代応援」「健康増進(介護・医療)」の3つのテーマを重点分野として、積極的な取組みを進めています。

子育て支援



受賞団体の活動の様子

住友生命の表彰事業

■子育て支援活動の表彰

子どもたちの成長を、地域みんなの力で応援するため、住友生命では、子育て支援に取り組む団体や個人を表彰し、その貴重な活動をサポートしています。

■スミセイ女性研究者奨励賞

女性研究者の研究と子育ての両立を支援するための助成金制度を設けて支援を行っています。

こども絵画コンクール

未来を担う子どもたちの夢を育み、心豊かな成長をお手伝いしたいという思いのもと昭和52年にスタートした「こども絵画コンクール」は今年で39回目を迎えました。全国各地および海外からご参加いただき、開始からの応募総数が1,058万点を超えるコンクールへと成長しました。

平成12年度からはフランス国立ルーヴル美術館の後援を受け、毎年同美術館にて優秀作品の展示を実施してまいりました。平成27年度も優秀作品を3～4月の1ヵ月間ルーヴル美術館に展示します。

その他、昭和61年度から絵画コンクールを通じて日本ユニセフ協会の活動を応援しており、「お渡しした画用紙1枚につき1円、応募作品1点につき10円」を寄付し、絵画コンクールに応募していただくことで子どもたちが社会貢献に参加できるようになっています。



第38回ルーヴル美術館賞
「海の中(うみのなか)をのぞいてみたら…」
遠藤 虹光さん(小2)

子どもたちの居場所を豊かに～財団・NPO等との協働～

住友生命では、子どもたちの健やかな育ちと社会全体での子育てを応援するため、「子どもたちの居場所」にスポットをあて、財団やNPO等とともによりよい環境づくりを目指しています。

乳幼児	児童
保育園・幼稚園	小学校・中学校
子育てひろば	学童保育・放課後子ども教室 児童館

児童館支援

■子どものためのNPOとの協働事業(どんどこプロジェクト)

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

全国各地の児童館と多分野のNPOが手をとりあって子どもたちに遊びや体験、創作などの機会を提供する取組みを支援しています。



【実施例】

- ・児童館×環境分野NPO 「自然探検隊」プログラム
- ・児童館×災害支援分野NPO 「防災マップ作り」プログラム
- ・児童館×医療福祉分野NPO 「障がい者スポーツ体験」プログラム

「自然探検隊」プログラムの様子

学童保育・放課後子ども教室支援



特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

小学生の放課後の生活の場・居場所である全国の「学童保育」や「放課後子ども教室」等にソフト面でのサポートを行うことで、子どもたちへ多様な体験とかけがえのない時間を提供するとともに、子育て世代が安心して働くことのできる環境整備を目指します。具体的には、学童保育等を対象に「スマセイアフタースクールプログラム」(出張授業)の開催や、「放課後をもっと楽しく! book」の配布、遊んで学べるすごろくやペーパークラフト類の提供等を行っています。

この取組みは「第8回キッズデザイン賞」を受賞しました。



〈プログラム例〉心臓外科医のシゴト

小学校・中学校支援

■ 弁当の日応援プロジェクト

全国約1,700校の小中学校で実施されている「弁当の日」の推進を図るためのプロジェクトを支援しています。「弁当の日」の取組みでは、献立づくりから、買出し、調理、弁当詰め、片付けまで、親は一切手伝わず、すべて子どもたち自身が行います。この取組みを通じ、食の大切さや感謝の気持ち、自己肯定感などを育み、子どもたちに生きる力を身に付けて欲しいと願っています。また家族愛や絆を深めるきっかけになればと考えています。

この取組みは「第8回キッズデザイン賞」で消費者担当大臣賞(優秀賞)を受賞しました。



保育園・幼稚園支援

■ スミセイおはなし広場キャラバン

公益財団法人 住友生命健康財団

スミセイおはなし広場キャラバンは、地域の読み聞かせボランティアが保育園・幼稚園を訪問し、子どもたちと本との出会いや地域のふれあいのお手伝いをしています。平成13年度から各地で実施しており、平成26年度には169施設で実施いたしました。これまでに全都道府県の1,695施設158,810名の園児におはなしをお届けしました。参加した園児には絵本のプレゼントもしています。



子育てひろば支援

■ 全国の子育てひろばの人材育成、コンサル、ネットワークづくり支援

NPO法人 子育てひろば全国連絡協議会

全国約1,000箇所の子育てひろばが会員となっているNPO法人子育てひろば全国連絡協議会の活動を支援しています。



【主な支援事業】

- ・子育てひろばスタッフ養成のための研修
- ・ひろば運営の課題を解決するためのコンサルテーション

■ 子育て・まちづくり支援プロデューサーの養成事業

特定非営利活動法人 あい・ぽーとステーション

主に定年前後の男性を対象とした「子育て・まちづくり支援プロデューサー養成事業」を支援しています。子育て・まちづくり支援プロデューサーは、企業や社会で長年培われた経験やスキルを活かして、子育て支援の現場や地域を支えています。



豊かな社会づくり

次世代応援

YOUNG JAPAN ACTION

浅田真央×住友生命

住友生命は若者たちが本来持っている「世の中を良くしたい」という想い、「未来を切り拓いていこうとする力」を存分に発揮して頂くために少しでもお役に立ちたいとの願いから、「次世代応援」をテーマに、新たなプロジェクト「YOUNG JAPAN ACTION 浅田真央×住友生命」を平成26年にスタートしました。

このプロジェクトは、当社のブランドパートナーである浅田真央さんをプロジェクトリーダーとしてお迎えし、当社の20代の若い職員とともに、「若者が中心となって社会的課題を解決する活動」を支援するプロジェクトです。全国から日本をワクワクさせるたくさんの活動をご応募いただき、特に優れた活動を行っている10組を表彰しました。うち大賞に輝いた3組には、浅田さんをはじめとするプロジェクトメンバーが、実際の活動と一緒に参加しました。その様子を

テレビやラジオ、ウェブサイト、ソーシャルメディアなどを通じて積極的にお伝えすることで、若者たちの活力を日本中に伝え、日本が直面する社会的課題に対する啓発につなげていきたいと考えています。

住友生命では、今後も次世代応援をテーマとした取り組みを進めていきます。



活動の様子

営承M219

ヤングジャパンアクション

検索

健康増進(介護・医療)

スミセイさわやか介護セミナー

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

平成3年度から各地の新聞社と提携し、介護保険制度の情報、認知症予防、介護の知識・介助技術など、実習を交えた多彩なメニューを提供しています。平成26年度は全国38都市で開催し、延べ9,800名を超える方々に受講いただきました。



実習の様子

認知症サポーターの養成

平成21年から認知症サポーターの養成に取り組んでいます。所定の研修を通じて、これまでに9,820名(平成27年3月末現在)のサポーターを養成しており金融機関ではトップクラスの実績です。

※認知症サポーターとは、「認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者」で、厚生労働省が始めた取り組みです。



研修の様子

認知症ケアに取り組む団体を支援

認知症ケアに関する啓発・普及活動、家族へのフォロー、指導者育成等の観点から、電話相談、研修、機関紙発行などの活動を行っている団体を支援しています。

【支援先団体】・公益社団法人 認知症の人と家族の会
・公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

スミセイライフフォーラム 生きる

公益財団法人 住友生命健康財団

生きること、それは私たちにとって、永遠の基本的テーマです。このフォーラムでは、未来に向けて、キラリと光る生き方の持ち主をお迎えして、講演や対



フォーラムの様子

談、コンサートなどを全国各地で開催しています。平成8年度から継続開催し、通算回数は150回を超えています。

住友生命総合健診システム(人間ドック)

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

昭和35年に移動診療車による健康診断からスタートした住友生命総合健診システム(人間ドック)は、予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理を目指し、スタッフ・設備の充実、きめ細かい受診者対応に努め、多くの方に受診いただいています。



地域医療貢献奨励賞

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

医療に恵まれない地域における医療の確保と向上および地域住民の福祉の増進を図るため、地域医療に多大な貢献をされている医師を対象とする「地域医療貢献奨励賞」の顕彰を、平成19年度から自治医科大学の後援を受け、実施しています。

がん患者団体等への支援

がんの早期発見や早期治療、患者さんとその家族の支援に取り組む団体に対して支援を実施しております。

【支援先団体】

- ・公益財団法人 日本対がん協会
- ・特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティー

がん啓発冊子の配布

がんについての正しい情報を全国の皆さまにお届けすることを目的に、啓発冊子「知っておきたいがんのこと」を国立研究開発法人国立がん研究センター監修のもと作成しました。

がんの基礎知識や治療内容・費用、相談窓口、患者の声など幅広い情報を掲載しており、当社の支社・支部のネットワークを活かし、営業職員を通じて、日本全国の皆さまに配布しています。大変好評をいただいております、平成25年3月の発刊から累計発行部数125万部を突破しています。



ピンクリボン運動を応援

乳がんの早期発見・診断・治療の大切さを伝える活動として平成19年度からピンクリボン運動を応援しています。

全国約3万人の営業職員が胸にピンクリボンバッジをつけて、ピンクリボンのメッセージをお客さまに伝えていくとともに、オリジナルのチラシや冊子をお配りしています。当社イメージキャラクターのピングーもピンク色になりグッズやチラシに登場、一緒にPR活動をしてきています。



© 2015 The Pygos Group

営承P504

また、使用済み切手を回収し、リサイクル業者を通じて換金の上、日本対がん協会「乳がんをなくすほほえみ基金」に寄付しています。寄付金は乳がん検診機器の整備、患者や治療者のケア、広報活動やがんについての相談、検診技術者の研修などに役立てられています。

「闘わないがん治療:粒子線セミナー」の開催

すべての方々に向けて「超最先端のがん治療・粒子線治療技術(先進医療)」の啓発活動を行っています。

平成20年3月から、兵庫県立粒子線医療センター名誉院長・メディポリス国際陽子線治療センター長 医学博士 菱川良夫先生を講師にむかえセミナーを実施しており、これまでに99回開催し19,500名を超えるお客さまにご聴講いただいております。また講演のダイジェストと菱川先生のインタビューを収録したDVDも11万枚以上を配布しております(平成27年6月末現在)。



「闘わないがん治療」DVD

豊かな社会づくり

いずみホール

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

住友生命福祉文化財団が運営するいずみホールは、当社が音楽による社会貢献を目的に建設したクラシック音楽専用ホールです。



室内楽に最適な821席の規模を備え、その音響の良

いずみホール夢コンサート
(指揮者体験コーナー)

さは各方面から高く評価されています。毎年恒例の「いずみホール夢コンサート」は、障がいのある方々と、サポートする方々を共に招待し、生のクラシック音楽をお楽しみいただくもので、平成26年で12回目となりました。

スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム

公益財団法人 住友生命健康財団

スポーツを通じた健康やかなひと・社会づくりを目的に、コミュニティスポーツの新しい取組みに関する創造的な活



平成26年度助成金贈呈式

動への助成を行っております。5年目となる平成26年度は、全国から応募をいただき、35件のプロジェクトが助成対象に選ばれました。

24時間テレビ“愛は地球を救う”協賛

平成18年度から24時間テレビ“愛は地球を救う”に協賛し、全国で募金活動を実施しております。当社独自の取組みとして使用済み



平成26年 広島設置ブース

切手の回収用ボックスを作成し、当社内のみならず各企業さまにもご協力をいただき、回収活動を実施しております。放送当日にはテレビ局のメイン会場や街頭にブースを設置し、全国各支社・本社および関連会社職員が募金活動を行っております。平成26年度は皆さまのご協力のもと12,721,350円(うち使用済み切手回収による換金額443,700円)の募金を集めることができ、福祉・環境・災害復興に役立てられています。

職員ボランティア

スミセイ・ヒューマニー活動



スミセイ・ヒューマニー活動は、「人間味あふれ(ヒューマン)、地域社会と調和を図れる(ハーモニー)企業でありたい」そんな想いから「ヒューマニー(ヒューマン&ハーモニー)」を合言葉に平成4年にスタートした職員参加型のボランティア活動です。

地域社会・国際社会に貢献するために、清掃活動や施設

訪問・チャリティバザー、海外のこどもたちに絵本を届ける運動など多岐にわたる活動を展開しており、当社の社会貢献活動の基礎となっています。

海外部門をはじめとして、全ての支社・本社各部室が活動に参加し、23年目となる平成26年度は、268活動、延べ62,274名の職員が活動に取り組みました。

震災復興への取り組み

東日本大震災の復興支援を目的とした主な社会貢献活動をご紹介します。

職員による活動

チャリティバザーの開催

例年、職員が商品を持ち寄り開催しているチャリティバザーにおいて、売上金の一部を寄付するとともに募金活動や東北商品コーナーを設置し、購入支援を行いました。



職員ボランティア活動による支援

被災地の復興に少しでも役に立ちたいとの思いから職員から参加者を募集し、がれきの撤去や掃除、農業や漁業の現地ボランティア活動等を実施しました。



子どもたちへの支援

子育て団体への支援

「未来を強くする子育てプロジェクト」の一環として、「震災復興応援特別賞」を設けています。平成26年度は震災後の子どもの居場所、遊び場づくりに取り組む団体等に支援を行いました。



東北の高校生の富士登山イベントへの支援

日本一高い山に登ることで自信をもって復興に臨んでほしいという思いから、東北の高校生を対象とした富士登山イベントを支援しました。



写真提供
東北の高校生の
富士登山事務局

町づくり支援

すべての人が暮らしやすい町づくりの支援

東北における復興の過程で、すべての人が暮らしやすい町をつくるための活動を支援しています。宮城県、岩手県等でセミナーを開催するなど、町づくりに向けた取り組みを支援しました。



音楽の力による心のケア

東北の病院等でのコンサートへの協賛

音楽の力で勇気付けるために、世界的指揮者である大野和士氏が病院等で行う「こころふれあいコンサート」に協賛し、平成26年度は福島県、宮城県などで開催しました。

